

會 告

來る昭和七年四月五日より九日に亘り 東京市に於て第二回工學會大會を開催する事になりましたから豫告します。

第二回工學會大會日程概要

1. 工 學 會 大 會	昭和7年4月5日、(火) 午前及午後		
晚 餐 會	5 日 夜	國 產 品 展 覽 會	{5 日(火)} 午前及 {6 日(水)} 午後
部 會 講 演 會	{6 日(水) 午前及午後 {7 日(木)}	通 俗 講 演 會	{8 日(金)} 夜 {9 日(土)}
工 場 見 學	{8 日(金) } " {9 日(土) } "	無 線 放 送	6 日(水) 夜
	會 場		
大 會	東京帝大大講堂	部 會 講 演 會	東京帝大教室
晚 餐 會	上野 精 養 軒	通 俗 講 演 會	未 定
國 產 品 展 覽 會	東京帝大大講堂及其附近		

日本鐵鋼協會第八回講演大會講演者募集

來る昭和七年四月六・七兩日に亘り上記工學會大會の部會として本會第八回(春季)講演大會を催ふしますから此好機會に御出演希望の方は下記要項御含みの上奮ふて御申込み下さい。

昭和六年十二月

社 團 法 人 日 本 鐵 鋼 協 會

應 募 講 演 者 及 演 題

- 1) コバルトを主金屬とする耐熱合金の研究
東京高等工藝學校教授 橋 本 宇 一 君
- 2) 鹽基性平爐改造の經過と其成績
川崎造船所製鐵工場製鋼科長 工學士 西 山 彌 太 郎 君
- 3) 金屬の疲勞に就て 陸軍科學研究所々員 理學士 茂 木 吉 治 君
- 4) 八幡製鐵所洞岡第一銻鑛爐プロヒールの決定に就て
八幡製鐵所銻鐵部員 工學士 山 岡 武 君
江 口 貞 吉 君

下 記 要 項

1. 講演申込期日は昭和七年一月三十一日限り締切ります、同期日迄に演題と其の講演大要録(二千五百字以内の概要)を必ず本會宛御送付のこと本會にては其大要集を編纂し出席申込者へ出来る限早く配布します。
2. 1月31日迄に論文の全文を御送り下されば大要は御送付に及びませぬ。此場合には論文全部の前刷を作り出席者に配布致します。
3. 講演の詳細は本會々誌鐵と鋼に掲載しますから當日の御講演は25分時間以内に願ひます。猶ほ實際要する時間を申込と同時に御記入下さい。
4. 御講演の會誌上梓原稿は開會期日前後可成近きに御提出下さい。(詳細原稿前提出の方でも大要録は必ず御提出下さい。)